# 文化・歴史の緑

## 緑を通じて 日本の四季を感じよう！

NO,1

日本には、緑にまつわる伝統的な行事がたくさんあります
「春・夏・秋・冬」季節の行事を通じて、生活の中に緑を演出してみませんか？

### 仲秋の名月／月見

昔、農民は収穫期にあたる仲秋の名月に、その年に取れた作物を備え五穀豊穣を祝いました。月見団子や収穫した作物を三方にのせて秋の七草と共に供え、稔りの秋を祝ったといわれています。“お月見”は、古来から日本の伝統的行事として親しまれていたのです。

### 桃の節句

中国では上巳の日(3 月 3 日)に川で身を清めて不浄を祓う習慣がありました。これが平安時代に日本に伝わり、紙でつくった人形に穢れを託して川や海へ流す「流し雛」が行われるようになります。この人形が精妙なものとなり、今日に伝わる日本の代表的な行事となったのです。

写真
(中央)：横浜市 環境創造局よこはま・ゆめ・ファーマー文化祭報告
(右)　：横浜市 港南区の花暦

出典：日本を楽しむ年中行事　三越

### 豆知識

**正月 7 日に食べる“七草粥”**

季節を表す代表的な草花に、春の七草があります。1 月 7 日に食べる七草粥は、新年に若菜を食べる中国の習俗と、平安時代 1 月 15 日に官中で行われていた七種の穀物<米、粟、黍、稗、胡麻、小豆、蓑米>の粥を食べる日本の行事とが結びついて生まれました。1200 年経った今日まで、その風習はしっかり息づいているのです。

### コラム

**季節を味わう行事“五節句”**

“節句”とは、中国から伝わった暦の上の習慣で、そのうち 5 つを江戸時代に幕府が公的な行事として定めました。五節句は季節の草木に関連し、それらを神に供え、食することで邪気を払いました。七草の節句、桃の節句、菖蒲の節句、七夕祭り、菊の節句。各々の節句の由来や植物について調べてみると、新たな発見があるかもしれません。